

放射線に関する Q & A

放射線は目に見えません。しかし正しく認識し、対処することで過剰な心配や、無用な被ばくを避けることができます。放射能対策室では定期的に、この Q & A を連載していきます。

監修＝

東京大学医科学研究所
坪倉正治

作成＝放射能対策室

Q 現在の食品基準値は、本当に安全なのでしょう
か？

A 暫定規制値では、食品からの放射性セシウムによる被ばく線量が1年間に5ミリシーベルト以下となるよう設定されていました。平成24年4月以降、新基準値が適用され、基準値以下の食品を摂取しても、被ばく線量が「1ミリシーベルト」以下となるよう計算されています。

食品規制値を国際比較すると下表のとおりです。現在の日本の基準値は、国際的に見ても、相当安全側に配慮した基準となっています。

食品規制値の国際比較

(単位：ベクレル / k g)

放射性物質の種類	日本				諸外国		
	食品群	暫定規制値	食品群	新基準値	食品群	米国	E U
放射性ヨウ素	飲料水	300			乳幼児用食品	各食品群とも測定 合計170まで	150
	牛乳・乳製品	300			飲料水		500
	魚介類	2,000			乳製品		500
	野菜類 (根菜イモ類を除く)	2,000			一般食品		2,000
放射性セシウム	飲料水	200	飲料水	10	乳幼児用食品	各食品群とも測定 合計120まで	400
	牛乳・乳製品	200	乳児食品	50	飲料水		1,000
	穀類	500	牛乳	50	乳製品		1,000
	野菜類	500	一般食品	100	一般食品		1,250
	肉・卵・魚・その他	500					

相馬市の食品放射性物質検査結果では、ほとんどの食品が新基準値である100ベクレル / k g 以下でした。

そして、福島県内の食品は、この新基準値を大幅に下回る食品が大多数であり、スーパーなどで流通している食品は十分にリスクが低いことが分かっています。

しかしながら、野生きのこや山菜、イノシシの肉など出荷制限などがかかっているものでは、作物の

品種や土地の状況によって、セシウムが100ベクレル / k g を超え、時に数百～数千ベクレル / k g と大きな値が検出されることがあります。

(単位：ベクレル / k g)

No.	検査日	品名	地区名	セシウム	
				134	137
1	11/15	イチヂク	大坪	43.50	73.20
2	11/7	いのはな	相馬市	13300.00	22400.00
3	11/7	いのはな	赤木	1220.00	2220.00
4	11/29	芋がら	日下石	37.70	66.20
5	11/6	かに味噌	山上	65.80	118.40
6	11/26	カボチャ	和田	43.10	75.30
7	11/15	鴨肉	初野	51.90	88.10
8	11/1	キウイ	柚木	86.20	142.00
9	11/16	キウイ	玉野	37.00	70.00
10	11/20	きのこ	不明	62.00	111.00
11	11/27	切干大根	原釜	67.90	102.70
12	11/6	金タケ	山上	1196.80	1788.10
13	11/19	クリタケ	新沼	73.30	109.30
14	11/2	しいたけ	新沼	229.50	362.00
15	11/5	しいたけ	大坪	83.10	137.00
16	11/15	しいたけ	日下石	392.00	678.00
17	11/15	しいたけ	柚木	181.00	314.00
18	11/28	なめこ	磯部	93.00	178.00
19	11/29	なめこ	日下石	71.30	123.00
20	11/6	柚子	立谷	59.60	97.70
21	11/7	柚子	黒木	35.20	66.50
22	11/8	柚子	立谷	61.80	101.00
23	11/9	柚子	坪田	46.10	71.80
24	11/13	柚子	日下石	40.80	73.10
25	11/14	柚子	富沢	37.00	63.00
26	11/14	柚子	和田	63.80	100.00
27	11/16	柚子	粟津	56.00	97.00
28	11/20	柚子	蒲庭	50.90	87.30
29	11/20	柚子	坪田	46.50	72.30
30	11/21	柚子	尾浜	52.00	118.00
31	11/21	柚子	磯部	37.00	63.00
32	11/22	柚子	新沼	44.60	62.00
33	11/26	柚子	石上	43.90	63.20
34	11/26	柚子	小泉	55.20	69.30
35	11/29	柚子	椎木	44.70	77.80
36	11/29	柚子	新田	41.80	71.10
37	11/12	ワラビ	磯部	62.00	45.00

自家消費農林水産物の放射性物質簡易測定の結果、基準値を超えた農林水産物 (H24・11月)

現在の生活での内部被ばくは、ほとんどが汚染食品の摂取で起こります。出荷制限などのかかる食物を未検査で摂取するのは避けましょう。今後の継続的な食品検査が大切です。

出典および参考資料：政府広報オンラインHP、(財)日本原子力文化振興財団HP：「原子力・エネルギー図面集2012」

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270